

## 信太入子ノ台遺跡出土の蔵骨器3点が 県指定文化財に！



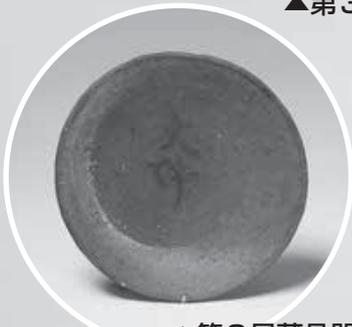
▲第3号



▲第2号



▲第1号



▲第3号蔵骨器の蓋の内面に「大伴」の墨書

蔵骨器の県指定は  
県内初！

信太入子ノ台遺跡（現在、JRA 美浦トレーニングセンターの乗馬苑）より出土した蔵骨器3点が県指定有形文化財に指定されました（平成30年12月27日）。蔵骨器は平成21～22年の発掘調査において土坑（穴）の中に埋められた状態で出土しました。蔵骨器とは骨壺のことで、第1～3号蔵骨器と名づけています。

第1号蔵骨器は、須恵器とよばれる窯で焼かれた硬く焼きしまった灰色の焼き物で、焼けた骨が納められていました。甕は口の部分が欠けていて、蓋には盤とよばれる皿が転用されています。胎土の特徴から新治窯跡群（土浦市新治地区）で生産されたものと思われ、年代は8世紀末から9世紀前半と想定されています。

第2号蔵骨器は、灰釉陶器とよばれる灰を水に溶いた釉をかけて窯で焼いた蓋付きの頸の短い壺（短頸壺）です。壺と蓋は同時に焼かれた（伴焼）と思

われ、無傷の完形品です。壺の中には焼骨が納められていて、埋められていた穴の中は蔵骨器を覆うように炭が満たされていました。猿投窯という愛知県にある古代の陶器生産地で焼かれたもので、9世紀初頭と推定されます。

第3号蔵骨器は、須恵器の短頸壺で、蓋には坏（皿よりやや深めの器）に使われる蓋が転用されており、第2号蔵骨器同様に無傷の完形品です。埋められていた穴の中は蔵骨器の下半を覆うように炭が充填され、壺の中には焼骨が納められていました。蓋の内面には「大伴」と墨で書かれた文字がみられ、畿内で活躍した大伴氏の流れを汲む大伴部氏が信太郡内に存在した可能性があります。

これらの蔵骨器は古代律令体制下の歴史を解明する上で、ものの流通や火葬を通じた仏教の普及、古代氏族のあり方など多くの視点を提供しうる重要な資料であると評価され、県指定に加えられました。

# 竪穴住居の完成まであと一息!



こんにちわ!  
リクルとタイラです。  
陸平貝塚公園で進めている竪穴住居の復元プロジェクトもいよいよ大詰めです。年明けの1月から竪穴住居のカヤ葺き作業をおこなっています。カヤを葺く作業はチームワークが大切。カヤのほかにはワラや竹なども使い、皆で協力して作業を進めています。完成をお楽しみに!



「美浦かるた」で知る  
みほの文化財

今回の札は

「ね」

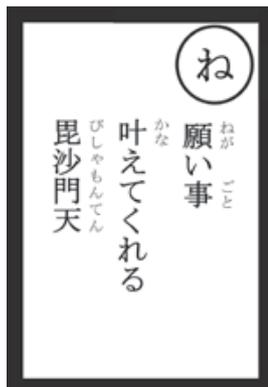
願ねがい事ごと 叶かなえてくれる 毘沙門天びしゃもんてん

布佐地区の毘沙門堂には県指定文化財の毘沙門天立像が安置されています。像の高さは約170cm、複数の木材を組み合わせた寄木造りという技法で造られています。

顔は目を大きく見開いた憤怒ふんぬの形相を示し、甲冑かこうを身にまとっています。左手には宝塔をささげ、右手に宝棒を握りしめ、足元には従者である夜叉やしやが踏みつけられたかたちで配っています。製作年代は作風などから鎌倉時代と推定され、頼朝頼朝が運慶につくらせたという話も伝わっています。

また毘沙門天立像は霞ヶ浦に漂着した毘沙門天を布佐の人びとが見つけて祀ったという伝承もあります。中世には霞ヶ浦水運に関わる財宝や福徳をつかさどる神として信仰されてきたと思われます。

毘沙門天立像は現在も地区の人びとの手により大切に守られています。



美浦かるたは美浦村女性行政推進協議会が作成した美浦村の魅力を紹介しているかるたです。

# 第4回 御茶園西遺跡をさぐる！ 古墳時代

御茶園西遺跡は木原地区にあり、平成25年度に遺跡の一部を発掘調査して、約4,000年前の縄文時代後期と約1,500年前の古墳時代後期のくらしの跡がみつかりました。

今回は御茶園西遺跡の古墳時代についてご紹介します。御茶園西遺跡の発掘調査では古墳時代後期の住居跡が3軒みつかりました。遺跡の周辺には、愛宕神社が祀られている愛宕山古墳や白旗石尊古墳（日本テキサス・インスツルメンツ敷地内）をはじめ、古墳が多くみられます。住居がみつかったことは古墳が造られた時代に、古墳の周辺に人びとのすまいがあったことを示しています。どのような住居で、そこからどのようなものが見つかったのでしょうか。

住居をみてみましょう。住居は縄文時代と同じ竪穴式ですが形は正方形で、カマドが壁際に造られていました。カマドから出る煙は住居の外に出していたようです。カマドの場所は何度も火を焚いているため土が真っ赤に焼け込んでいる様子が確認できました。

カマドを使って調理したものはなんでしょう。食べ物は残っていませんが、出土した土器の形をみると、蒸し器として使われた甑と呼ばれる底が開いて

いる土器や甕形の土器、坏と呼ばれる少し深めの皿、坏に脚がついた高坏など数種類の土器がありました。3軒の住居跡からはこれらの種類の土器がセットになって出土しました。それぞれの住居で揃えていた器の種類が共通していることは、当時、この地域で暮らしていた人びとの生活様式が共通していたことを物語っています。

ほかに剣を模したと思われるミニチュアの石製品が出土しました。滑石とよばれる柔らかい石を加工して作ったもので、祭祀などに使われたと思われます。また、網の錘と思われる土の製品も出土しています。

御茶園西遺跡は遺跡全体のほんのわずかな範囲しか発掘調査がおこなわれていませんので、古墳時代の集落の全容はわかりません。しかし、霞ヶ浦にほど近い高台に集落が存在し、しかも良好な状態で残されていることが発掘調査で予測することができました。

（御茶園西遺跡をさぐる！終）



▲第2号住居跡から出土した土器

# 陸平貝塚公園内の立入禁止区域について(注意)

陸平貝塚公園内でイノシシの足跡等が確認されたため、公園内の一部にイノシシ捕獲のための「わな」を設置しています。

**地図に示した斜線範囲内の立入禁止区域には、大変危険ですので立ち入らないようお願いいたします。**

わなは有害鳥獣捕獲隊により外から見えないよう地中に複数設置してあります。

特に、やまいも掘りの方、タケノコや野草採りの方、ポケモンGOをされている方、ペット連れの方(放し飼い厳禁)はご注意ください。

なお、陸平貝塚公園以外の安中台地の山林にも、わなを仕掛けてある箇所がありますので(注意看板あり)ご注意ください。



# 縄文の森コンサート

第21回目となる縄文の森コンサートは、つくば市出身の若手演奏家によるギターとヴァイオリンの音楽コンサートです。気軽に、普段着でどうぞお楽しみください。開演までに会場へお越しください。

- ◆日時 3月9日(土)  
開場：午後1時 開演：午後1時30分
- ◆出演 ひまどはやと 稗田隼人(ギター)、たかつしよこ 高辻瑤子(ヴァイオリン)
- ◆会場 文化財センター
- ◆入場無料
- ◆主催 陸平をヨイショする会
- お問合せ先：文化財センター



# 第25回 梅朝基礎落語

気軽に落語の世界を楽しみましょう。

- ◆日時 3月3日(日) ◆演目はお楽しみ!
- ◆時間 午後1時30分から 当日、直接会場に
- ◆会場 文化財センター お越しください。
- ◆出演 こうぶんていばいちょう 好文亭梅朝



## 陸平貝塚公園までの交通アクセス

【車】 by car  
常磐自動車道「桜土浦IC」より  
国道125号バイパスで約40分  
圏央道「稲敷」より15分

【バス】 by bus  
JR土浦駅より西口①バスのりば  
木原経由江戸崎行き  
「谷津入」下車 タクシーで約5分  
または「大谷」下車 3.5km

